

会長の時間(No.01)

会長の特権として、毎例会に会長の時間が与えられます。私の本音は、「会長に課せられた義務」とプレッシャーを実感しているのが実情です。

会長の時間は会長挨拶ではなく、「奉仕の理念」を提唱する貴重な時間とされています。また、会員に対する「奉仕の理念」の提唱こそ、会長に与えられた大きな責任と教育を受けました。

これは、牧師さんが日曜の礼拝時に、口頭による聖書を引用しながら簡単な解釈をおこなう説教に似ています。

宗教は絶対的な価値としての「神、教祖、教義」を信じることによって真理に近づきます。

しかし、RCは哲学であると言われています。哲学は合理性、論理性によって真実に近づこうとするものです。

方法論は、説教に似ていますが、先輩会長や地区の指導に従って、私もまた、会長の時間を利用してRCに関する小話を繰り返しお話して、自分自身を含め、“RC哲学の刷り込み”を行いたいと思っています。

種切れになるかもしれませんが・・・、

ちなみに、刷り込み(すりこみ、imprinting)とは、動物の生活史のある時

期に、特定の物事がごく短時間で覚え込まれ、それが長時間持続する学習現象の一種。刻印づけ、あるいは英語読みそのままインプリンティングとも呼ばれます。

「会長の時間」についてのご理解とご協力をお願いして、会長の時間を終わります。